

# Q. アクセスについて

## 西目屋地区 周辺MAP



### ● 飛行機・自動車・バス・鉄道

飛行機：青森空港  $\xrightarrow{\text{バス60分・車40分}}$  弘前市  $\xrightarrow{\text{バス55分・車40分}}$  白神館  $\xrightarrow{\text{バス期間：6/1~10/31 所要時間：約50分}}$  白神山地

弘前市内(弘前バスターミナル)

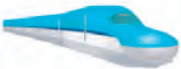
行先	所要時間	料金	時刻表・バスのりば
弘前市内(弘前バスターミナル)	約55分	1,200円(小人600円)	弘前バス・3番のりば

乗車の際現金でお支払いいただけます。(車内精算)  
但し、次の場所までチケット及び回数券を販売しております。  
弘前バスターミナル (5:30~19:00)・弘前駅 (7:40~16:20)

詳しい時刻表は、青森空港HPで検索



鉄道：JR新青森駅  $\xrightarrow{\text{JR奥羽本線45分}}$  JR弘前駅  $\xrightarrow{\text{バス55分・車40分}}$  白神館  $\xrightarrow{\text{バス期間：6/1~10/31 所要時間：約50分}}$  白神山地  
新青森 JR奥羽本線 弘前・津軽新城方面 普通 片道590円 所要時間約40分



バス：JR弘前駅  $\xrightarrow{\text{バス55分・車40分}}$  白神館  $\xrightarrow{\text{バス期間：6/1~10/31 所要時間：約50分}}$  白神山地



弘前～西目屋村役場線  
弘前バスターミナル7番乗り場、弘前駅6番乗り場 片道：1,010円  
詳しい時刻表は、弘前バスHPで検索 (<http://www.konanbus.com/>)  
ブナの里白神館から白神山地行きは、期間は毎年6/1~10/31まで  
詳細は弘前バスHPで検索 (<http://www.konanbus.com/>)  
■旅行・貸切バス→白神ライン直通バスで時刻表を確認してください。



自動車：弘前市  $\xrightarrow{\text{車40分}}$  白神館  $\xrightarrow{\text{車25分}}$  白神山地

◆運賃 白神ライン直通バス

往復割引乗車券がお得っ！  
●往復割引乗車券はご乗車前に弘前バスターミナル又は弘前駅前案内所にてお買い求めください。

弘前バスターミナル・弘前駅 ～津軽峠 片道	1,880円
往復割引	2,830円
弘前バスターミナル・弘前駅 ～アークグリーンビレッジANMON 片道	1,680円
往復割引	2,520円
弘前バスターミナル・弘前駅 ～西目屋役場前 片道	1,010円
アークグリーンビレッジANMON ～津軽峠 片道	420円
西目屋役場前～津軽峠 片道	1,050円

※2019年10月1日 運賃改正

## Q.西目屋村の白神山地は観光名所って何？

A.西目屋村の白神山地は、白神館から車で白神ライン（県道28号線）約25分ほど行くと、散策拠点施設である「アクアグリーンビレッジANMON」があります。



## ■アクアグリーンビレッジANMON（あんもん）について

- 営業期間：4月下旬～11月上旬まで（11月上旬～4月下旬まで冬季閉鎖）
  - ・売店や自販機、インフォメーションなどの対応は、4月下旬～11月上旬まで
  - ・宿泊（コテージ・キャンプ場）は、7/1～9/30までの営業
  - ・入浴（人工温泉：暗門の湯）は、7/1～10/31まで
  - ・駐車場は無料（バスは有料）
- ブナ林散策道 散策可能期間：4月下旬～11月上旬まで
  - ※4月下旬は残雪があります。世界遺産登録緩衝地帯に唯一入っています。
  - ・腐葉土の上を歩きます。ぬかるみもあります（長靴レンタル1足350円有）
- 暗門（あんもん）の滝 散策可能期間：6月上旬～11月初旬
  - ※雪の状況により変更となる場合があります。
  - ・雪崩の危険性もあるため、通行が可能となるまでお待ちください。
  - ・悪天候によっては、巡視員の判断で安全を考慮し通行止めとなる場合があります。



## 暗門の滝

- ・散策道入り口で通行届け出の記入と落石の危険がある為ヘルメットレンタル（100円）を推奨。
- ・暗門の滝の落差（第3の滝26m、第2の滝37m、第1の滝42m）
- ・整備されているのは第2の滝まで
- ・第1の滝は、風化が激しいため、整備してありませんが、自己責任で行けます。
- ・暗門の滝の由来については、諸説あります。
- ・狭い峡谷を「門」と言い、日が当たらないことから「暗」とつき、「暗門」と言われたのが通説ですが、安らぎを与えてくれる場所で「安門」とも言われています。



- 津軽峠・高倉森 散策可能期間：5月下旬～11月中旬
  - ※道路状況と雪の状況により変更となる場合があります。
  - ・バス（弘南バス：白神ライン直通バス 期間：6/1～10/31）もあります。

- 新緑の時期
  - ・例年4月下旬～5月中旬頃まで



- 紅葉時期
  - ・例年10月中旬～11月上旬頃まで

※ブナは黄葉に色づきます。



## Q. 十二湖って白神山地？

A. 白神山地です。ただ地図を見て頂ければわかりますが、十二湖は「青池」などの観光名所がたくさんありますが、白神岳山頂から世界自然遺産の緩衝地帯に入ります。そのため十二湖は遺産登録緩衝地帯のエリア外になります。

自慢!! 西目屋村は唯一気軽に世界遺産登録の緩衝地帯に入れるエリアなんです。



## Q. 十二湖の場所は？

A. 海側の深浦町にあります。西目屋村からのアクセスは、車で白神ライン【県道28号線】を通った場合、所要時間は、約2時間30分（距離約50km）ほどかかります。

区間：ANMON～深浦間・開通5/下旬～11/中旬まで **\*未舗装：砂利道** 注意  
白神ラインは未舗装の為、迂回ルートをお勧めします。

（車迂回ルート：弘前→岩木山→鱒ヶ沢→深浦町十二湖）

迂回ルートの場合、距離は約100km程ですが、全て舗装のため安全です。  
※電車の場合、最寄り駅のJR弘前駅から「五能線」で移動となります。



## Q. なんで十二湖と言われているの？

A. 十二湖は、標高150m～250mの起伏の多い台地に約4km<sup>2</sup>にわたって点在する、33湖沼群の総称です。大崩の展望地から見下ろすと「12」の池が見えるので十二湖と呼ばれています。

## Q. なんで青池が有名な観光名所になったの？

A. その中でも十二湖の代名詞ともいえる「青池」は青インクを流したような神秘的様相を見せ、水中には朽ちたブナの大木が横わたり、太陽と見る角度により、千変万化する幻想の世界へと導きます。

同じように青色の湖水が美しい「沸壺の池」の湧水は「青森県の名水」にも選ばれています。その美しさから各テレビ局で、取材が殺到し、JRの五能線も合わせた旅行商品が売れに売れて観光名所として一躍有名になったんです。

青池は、エメラルドグリーンでめちゃくちゃ綺麗なんです。でも天気によっては綺麗に見えない場合もあるんです。これも自然の摂理ですので・・・ご理解を・・・